



## 彼岸とは

「暑さ寒さも彼岸まで」と申します。

これは、温暖な地方の言い伝えであって、北海道の寒冷地には不向なのかも知れません。しかし、確実に春はやって来ております。彼岸（あちらの岸）とは、仏さまのまします悟りの世界、これに対し人間の住む迷いの世界を此岸（こちらの岸）と申します。

「暑さ寒さも彼岸まで」とあるように、この季節は暑くもなければ寒くもない、丁度頃合いなのです。そして、昼も夜も長さは同じ時間、つまり調和のとれた時期にこそ、仏法に遇わせて頂くと、仏さまの教えがまっすぐ届いて下さいます。つまり仏法聴聞にもっともふさわしい条件がそろっている好季節だということなのでしょう。

これは私たちの先祖が残しておいて下さったすばらしい遺産であり習俗なのです。私たち凡夫は、気持ちが高ぶっている時や、逆に気分が沈み込んでいる時は、なかなか人の言うことを素直には聞けません。耳に入らないのです。いわんや仏さまの教えはなおさらのことでしょう。

彼岸に遇うとは、仏さまの教えをお聞かせ頂く調和のとれたよい時期なのだ、心に銘すべきでありましょう。

輪番 佐々木俊朗

## おれあいの寺 西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647



**お西さんテレフォン法話**  
24時間お好きなときにいつでもどうぞ  
にし にし  
0138 27局 2424番

- 2月25日(日)～3月 2日(土)…石 黒 ● 3月31日(日)～4月 6日(土)…輪 番
- 3月 3日(日)～3月 9日(土)…輪 番 ● 4月 7日(日)～4月13日(土)…石 九
- 3月10日(日)～3月16日(土)…副 輪 番 ● 4月14日(日)～4月20日(土)…輪 番
- 3月17日(日)～3月23日(土)…輪 番 ● 4月21日(日)～4月27日(土)…小 笠 原
- 3月24日(日)～3月30日(土)…神 田 ● 4月28日(日)～5月 4日(土)…輪 番

# 愛ふれ 声 ラド



## ■雪にはまつて■

先日の吹雪の日に、港町の滝花さんの所へお参りに行きました。滝花さんは車の運転をしたことがまったくなかったようで、とにかく私が車を押すので、アクセルを踏んでくださいとたのみ脱出をこころみました。失敗でした。そこで滝花さんは、近所の方々を集めて来て、車を押して下さりました。江差へ行かなければならない日、出発の時間が近づいていたので本当にたすかりました。

(藤沢)

## ■丹精こめて■

「お寺でお役にたてる事があつたら、何でも言つて下さいね」とおっしゃって下さる深堀町の竹田さんは、シルバー人材派遣センターで、筆耕のお仕事をされています。

はたで見るとは違い、なかなかの重作業で、賞状、卒業証書などを一字一字間違えない様に丁寧に丹精込めて書かれる姿は「すごい一言」。以前竹田さんから自筆の法事の依頼状を頂いた時は、その文面から伝わってくる心遣いに思わず感激してしまいました。

(小笠原)

## ■若いつもりが■

先日、何年かぶりに七飯大川の小田さん宅にお参りさせて頂き、子供さんが大きくなったのおどろき、まして末の女の子が二才半になったんですよと云われ、私がお参りさせて頂いた頃には、まだお母さんのおなかにいたのね、と自分の歳を、タナの上にあけて、回りばかり歳をとって、自分自身はいつまでも若いつもりでいるんですね、と笑ってしまいました。

(神田)

## ■おかげさまで■

駒場町の笠原さん、桔梗町の正田さん、人見町の稲井田さん、お寺のボーイスカウトの子供達の為に仏前にあがった缶づめや、おかし等たくさんわけていただき、本当にありがとうございます。先月2月11日にはボーイスカウトの子供達と保護者の方々を含め、30人あまりで函館山に登り、無事成功を収めることができました。ありがとうございます。お孫さんや、近所の子供達に声をかけてお寺にあそびにいらして下さい。おまちしています。

(黒田)

## ■春よこい■

今回は高丘町の越さんをご紹介したいと思います。いつもきれいな花をお上げになっておられますのでお聞きした所、自分で育ててになった花とのことでした。花を育てるのもかなり大変のようですけれども色とりどりの花を見せていただく心が和らぎます。冬は花が育たないので春が来るのが楽しみです。また、最近はお経も一緒に唱えていただいています。お花同様に念仏の心も共に育ててまいります。

(石黒)

## ■本山へ行くこと■

鎌治二丁目にお住まいの富田さんは、昨年の秋京都の大谷本廟にお参りに行き、納骨もしました。本山にもお参りをしたそうで、すばらしい思い出ができてよかったですね。また、山の手一丁目にお住まいの魚井ヒナさんは近い将来京都にお参りに行きたいと思っておられます。蓮如上人の五百回忌法要のときに皆さんとお参りに行くのはどうでしょうか。

(山岸)

## ■無心に手を合わせる■

古平町の豊浜トンネル事故のあと、梁川町の花田さん宅へお参りの時、「お寺さん、大変なことになったねえ。多分もうたすからんだらね。」テレビにベシヤンコにつぶれたバスが映し出される。

(副輪)

## ■みんなで一緒に■

今年の冬は雪が多く、皆様雪かき大変だったのではないのでしょうか。私も数年ぶりの大雪で車の運転が大変でした。

年始のお参りもすんで、私の担当地区の御門徒さんの家にはほとんどお参りさせて頂きました。昭和二丁目の花田さんのお婆ちゃん、私と一緒に大きな声でおつとめされておられます。又、宮前町の小坂さんのお宅では、必ず家族みんなでお参りされておられます。家族みんなでお参りして、お念仏申す、本当にすばらしいことですね。PS 暑さ寒さも彼岸までと言います。皆さん、あと少しで春が来ます。カゼなどひかぬよう、お体大切に。(吉村)

## ■笑顔が一番■

「私のようにもう死んでもいいのが生き残って、若いものが先に死んでいって、娘の主人が死んだのです。娘がかわいそうで、代わってやりたいけど、どうすることもできません。ご院さん、思うようにはなりませんが、せんとんね」と泣きぬれて語られた大森町の竹山さんは、九十歳のおばあちゃん。シワだらけの顔は涙でぐしゃぐしゃでした。

一緒に「ナンマンダブツ」を称えましょうよ。

「石丸さん、いつも笑っていてください。石丸さんの笑った顔を見るとホッとします。暗い顔はダメですよ。人間は笑顔が一番！」と声をかけて下さったのは、谷地頭の山本さん。これからは「ひまわり」のように明るく元気になりますね。

旭町の須藤コトさんと顔を合わせた瞬間に、「今年のお寺の新年会は、とってもおもしろかったワ。すごく興奮しました。これから毎年参加しますね」と爆笑の音が返ってきました。ありがとうございます。ひとはだ脱いだかいがありました。炭坑節あり、裸踊りありの素敵な新年会でした。もっとたくさんの方が参加して下さい。いいですね。(石丸)

(石丸)

# にしん通信



江差での合言葉は「しはれるねー」顔を合わせると交わすのです。

北海道の中では暖かい地方のはずがこの寒さはいったいどう言うことなのか？ ストープが焚いてある所でも1m以上離れるともうしばれていきます。

今年は雪は少ないけれども寒さはとてもきびしいようで、ストープのない部屋は冷蔵庫、外は冷凍庫と言わなくてはしょうか？

また、街では水道工事の車があちこちで見られ、水道がしばれての工事に追われてる模様です。(ちなみにご多分に洩れず別院も水道が破裂しました。)それに付け加えて、カゼが強いため雪が降ると吹雪、それもけたはずれです。周りの家どころか、自分のいる場所がわからなくなるのです。しかし、そんな中でも別院はご門徒の皆様を守られていきいきとそびえ立っています。

利国特派員

## 心の花束

本堂の雑記帳より

今日はとても暖かい日です。寒いと思いついて来て函館ですが、今日の私の心の様に暖かい日がまぶしく光っています。又、この地に来る事がありましたら寄っていきたいと思います。(千葉県 房野知子さん)

無量壽  
これから東京へ帰ります。仏様もたっしやでご先祖様を宜しく。正月3日 むこ殿へ

あけましておめでとうございます。今年是我が家にとっていい年でありますように。(前さん)



元旦詣  
この寺はほっとします。明るく、そしてさりげなく、もとめるおみのりの本を置いて下さる、有難い事です。職員の皆様のお気づかい有難うございます。(国立 タミさん)

新年あけましておめでとうございます。今年も1年健康で元気よく明るくすごせますように。修正会にお参りさせて頂きありがとうございました。(Y・Mさん)

北海道3日間の旅、最後の日に御朱印をお願いに来ました。ありがとうございました。(千葉県 鈴木美佐江さん)

## 春季彼岸会

台町彼岸会 三月十八日(月)  
■午前十時三十分より

日時 三月十七日(日)〜三月二十三日(土)

■晨朝(朝七時より) 速夜(昼一時三十分より)

講師 十勝郡浄福寺 北元 哲朗先生

※本院納骨堂及び台町墓地においても、十七日(日)より二十三日(土)までお勤めを致します。  
※二十日(水)には、花、ラムネ、おだんごをご用意致しますのでどうぞご利用下さい。

## 中央仏教学院 特別講演会

日時 平成8年3月2日(土) 午後1時30分より

場所 西別院文化会館

講師 中央仏教学院講師 守 快 信 先生

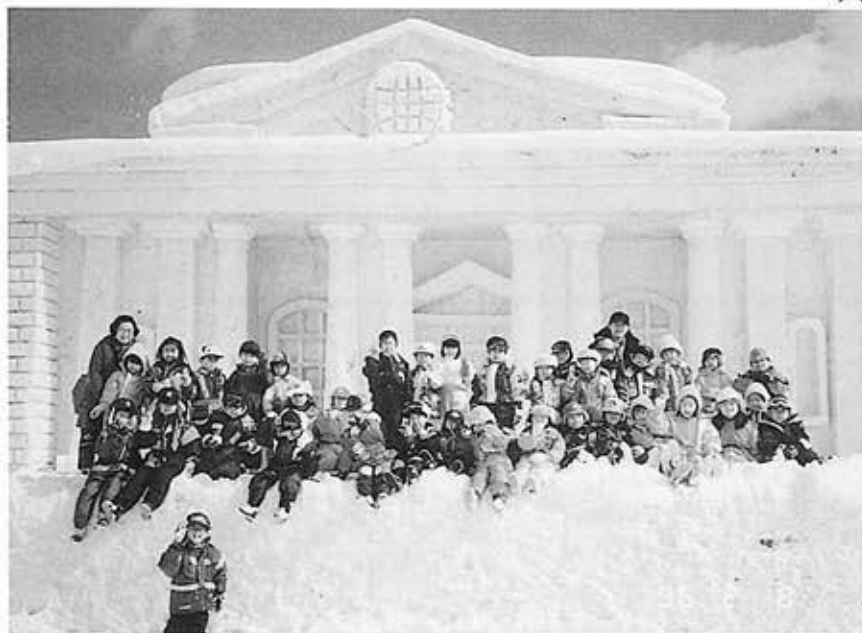
※会費は無料です。

皆さんお誘い合わせの上、お越し下さい。

# ★ 龍谷幼稚園で～す ★

お西さん三月・四月号 平成八年三月一日発行 通巻第四十六号

発行所 本願寺函館別院 発行人 代表者 本願寺函館別院 佐々木俊朗 函館市東岡町12-12 ☎0138-23-0647 制作 彰教(さいもん)



楽しかった、  
雪あそび  
小島恵子先生  
「ねえ先生、大沼公園まだ？」「早く、大沼公園につかないかなあ。」と、バスの中で子ども達はともワクワクした表情で「ゆきののはらにあそびにいこう。ヤーホホ……」とうたっていました。

大沼公園につくとすぐ、子ども達は、あちこちにある雪像にとびつき、「うわあー」と喜んでいました。(大沼公園の雪まつりが終わった後だったので、雪像やすべり台が残っていました。)



見つけた瞬間、とてもいい顔になり、順番にすべったり、ねこバスの中に乗ってお友達に手を振ったりして、思い思いに楽しめた様です。帰りのバスの中、疲れて眠った子は二・三人だけ。あとはみんな「楽しかったね。」「もっと、遊びたかった。」「と、元気におしゃべりをしていました。来年もまた、行きたいね……

## ようこそ常例布教へ

岐阜県掛寿町 善明寺

3月 渡辺 山修 先生

4月 北海道中川郡 早光寺

教重 文雄 先生

11日 職員法話

12日 布教使

15日 輪番法話

16日 輪番法話

(午後1時30分より)

※なお、毎月十六日は、十二時半より十六日会です。

## 教化サークルのススメ

仏教婦人会

●三月 二十三日 彼岸会

●四月 二十三日 総会

仏教壮年会

●三月 研修会

●四月 総会

覚信尼会

●三月 十二日 研修会

●四月 十三日 総会(後日連絡)

仏教青年会

●三月 例会(後日連絡)

●四月 総会(後日連絡)

ポイイスカウト

●毎月プログラム発行

●新入隊員募集中!

●詳細は山岸まで

白蓮会

●毎月十四日 例会

仏教に学ぶ会

●毎月八日……「正信偈」の練習

●毎月二十八日……「御文章」の輪読

土曜の会

●三月 三十日

●四月 二十七日

おくやみ申しあげます。

永代経願志ありがとうございました。

## お便り 大募集



仏教に関するご質問等どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えしますので、編集部迄お手紙でお寄せ下さい。又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。